

# 事業活動を通じた取り組み

Action Plan No. 1, 2, 3



生命と健康を守る

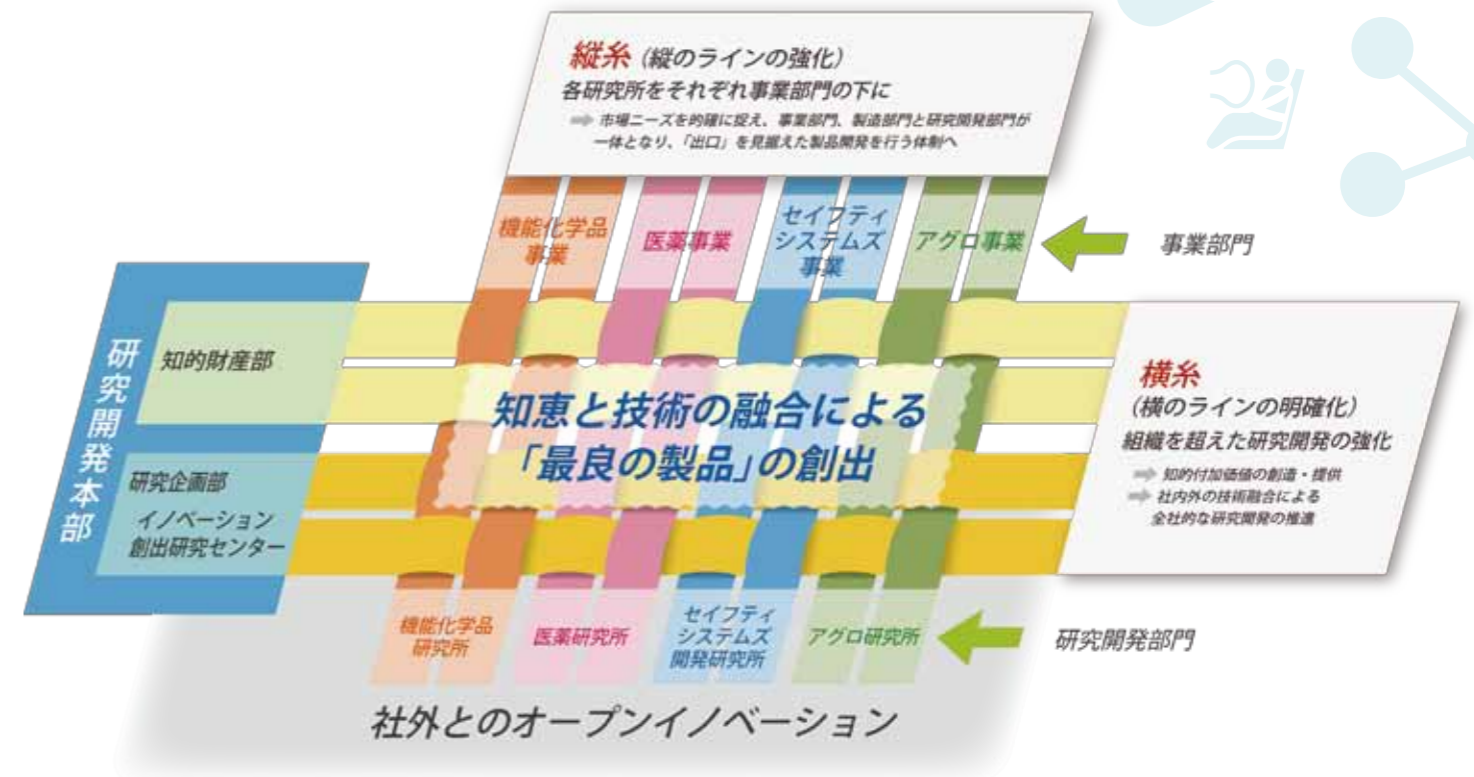
Action Plan No. 3, 4, 5



豊かな暮らしを支える

日本化薬グループは、KAYAKU spiritを実現するための企業活動としてCSR経営を行い、機能化学品事業・医薬事業・セイフティシステムズ事業・アグロ事業の4つの事業を通じて社会に貢献していきます。創立以来、基盤となる火薬や染料、医薬、樹脂などの技術を融合・変化させながら時代のニーズに応えた最良の製品を提供してきました。

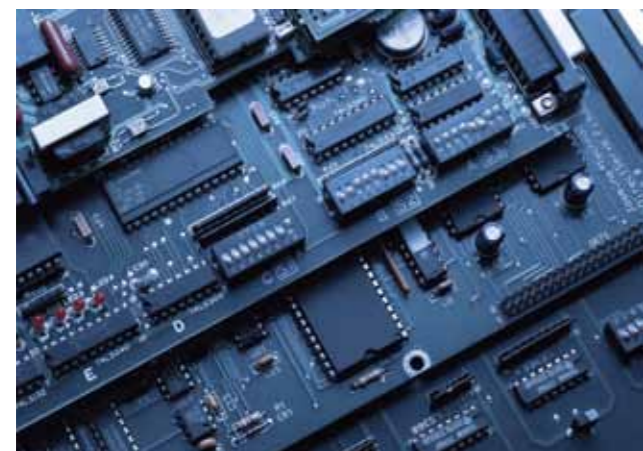
今後も新製品、新事業の創出を加速するため、2016年度は組織を見直し、13ページのイラストで紹介しているように研究開発部門と事業部門が一体となって取り組む体制としました。市場ニーズを的確にとらえた製品開発を行うための「縦糸」と組織を超えた知恵と技術の融合やコーポレート研究を推進する「横糸」を織り、最良の製品を創出していきます。



## 機能化学品事業



来たるべき社会は「必要なもの・サービスを必要なだけ提供し、生き生きと快適に暮らすことのできる社会=超スマートな社会」といわれています。情報通信分野は、個人電子端末と家電や自動車とのネットワークがますます拡大し、それに伴う電子端末に搭載される半導体デバイスの小型化、高性能化、画像表示パネルの高精細化が急速に進んでいます。また、省エネルギー・省資源の要請はますます高まってきております。機能化学品事業では、樹脂や色素、触媒で培った技術で情報・通信、省エネルギー・省資源分野へ特徴のある製品を提供し「超スマート社会」の実現に貢献します。



## 医薬事業



医薬事業では、ナノテクノロジーを用いた抗がん薬内包高分子ミセルに注力し、加えてバイオシミラーおよびジェネリック医薬品など、抗がん薬とその周辺領域に特化した研究・開発を進めています。また現在、乳がんに対する抗体バイオシミラーの国際共同試験に参加し、「フィルグラスチムBS」、「インフリキシマブBS」に続くバイオシミラーの製造販売承認取得に向けて取り組んでいます。

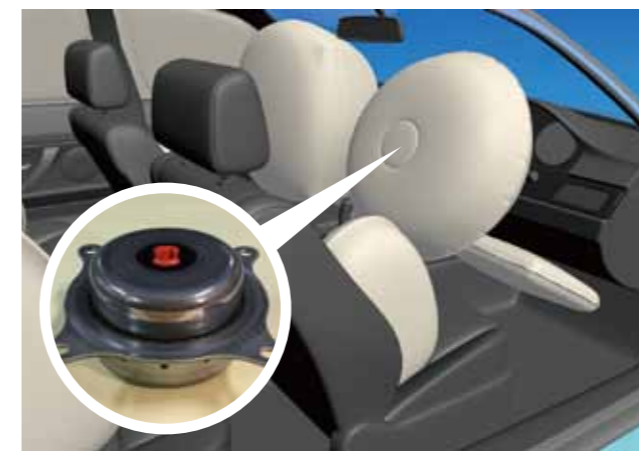
得意技術によるイノベーションの推進、高品質な医薬品の安定供給により、医療の向上と医療費の効率化を通じて社会に貢献していきます。



## セイフティシステムズ事業



世界の自動車生産台数は、東南アジアなどの新興国は中国に次ぐ高い成長が予想されており、これまで以上に自動車安全部品の搭載率が飛躍的に高まることが予想されます。セイフティシステムズ事業では、火薬技術を我々のコアコンピタンスとして研究を続け自動車安全部品の製造販売しています。また、市場に製品を送り出すまでのさまざまなプロセスを開発段階から各部門が連携し、開発から製造・販売までのプロセスを同時に進めることで、素早く市場に製品を提供することを実現しています。今後は、これまで以上に連携を海外拠点間にも広げることで、グローバル製品価値を高め、社会に貢献していきます。



## アグロ事業



アグロ事業では、化学農薬のみに頼らない総合的病害虫管理 (IPM) に適した、気門封鎖剤「フーモン」を2016年2月に上市しました。本剤には、①成分が食品添加物で使用されているポリグリセリン脂肪酸エステル②散布回数に制限はなく、収穫前日でも使用が可能③ハダニ類、アブラムシ類、コナジラミ類や、うどんこ病の同時防除が可能④薬剤抵抗性が発現した対象病害虫に有効 などの特徴があり、いちご・トマトなどの野菜分野に幅広く使用していただき好評を得ています。

今後は、ニーズにあった技術や資材を研究開発し、提供し続けることで農業に貢献していきます。

